

介護福祉 I

単位数	2 単位	対象学年	2 学年	対象コース・クラス	看護福祉
使用教科書	介護職員初任者研修課程テキスト1～3巻 株式会社日本医療企画発行			副教材等	オリジナルプリント

1. 学習の到達目標

2000（平成12）年4月に介護保険法が施行されてから十数年が経過し、介護保険は制度として国民に定着したが、高齢化の進展とともに、要介護認定者、介護サービス利用者は大幅に増加している。これに伴い、介護職員の人材確保と資質向上が喫緊の課題となり、介護職員がやりがいを持って継続して働いていくことができるキャリアパスを明確にしていくため、介護福祉士に至る入口として、ホームヘルパー2級研修に代わる「介護職員初任者研修」のカリキュラムが示された。

介護福祉 I の授業では、夏季休暇中の研修を含め、カリキュラムに沿った介護職員初任者研修課程を受講し、介護職員初任者研修を修了する。

2. 到達目標に向けての具体的な取り組み

- ①株式会社グローバル総合教育センターによる21回のスクーリングに出席する。
 - ・1回でも欠席すると、修了証明書が授与されない。
 - ・特別な事情により、欠席・遅刻した場合、補講を受講する。
- ②自宅学習による4回の課題提出。
 - ・テキストに沿って添削問題に解答する。
 - ・テキストを読んでレポートを作成する。
- ③「職務の理解」受講後、介護現場見学を行う。
- ④スクーリング20回目までに学習した総まとめとして「振り返り」で介護実習を実施する。
- ⑤12月に介護職員初任者研修の「修了試験」を実施する。

3. 学習上のメッセージ

福祉の仕事に従事する人には、3つの「H」が必要だといわれます。第1が「Hand（手）」で確かな技術を意味します。第2が「Head（頭）」幅広い知識です。介護職員にも医療的ケアが必要とされる時代になっているので、認知症等の基礎的な医学的知識も学びます。第3が「Heart（こころ）」で相手の立場を理解し、思いやる気持ちです。みなさんがこのような気持ちで学習することを心より願っています。

4. 評価の観点・方法（年間の評定）

評価は次の4つの観点から行う。

関心・意欲・態度	介護現場見学・介護実習に積極的に取り組み、実習報告書に作成し、実習したことや気づきを整理している。
思考・判断・表現	全10回の小テストで修了基準に到達する。
技能・表現	介護技術の習熟度の評価を含む科目試験（筆記・口答・実技）で評価基準に達している。
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅学習による課題に取り組みA～Cの評価をえる。 <li style="text-align: center;">※ D評価の場合は再提出となる。 ・单元ごとの小テストで基本事項を確実に理解する。 ・全21回のスクーリングで介護職員初任者研の学習内容を理解する。 ・スクーリング修了後、模擬試験・小テストなどの学習を通じて、介護職員初任者研修の内容を復習し、修了試験合格に向けて学習する。

このため、評価は次のものを対象とする。

1. 学期ごとの定期考査
 2. 出席状況・授業態度・授業ノート・プリント提出
 3. 自宅学習による課題提出
 4. スクーリング（21回）
 5. 職場見学・介護実習の取り組み状況と、実習報告書
 6. 広島桜が丘高等学校の生徒として規則にそった服装での学習活動の参加状況
- 1年間の評定は、年間を通じて、総合的に評価する。

5. 学習内容と評価について

単元名	科目名	指導内容と評価のポイント
○受講に向けての心構え	・授業の進め方取り組み方 習	資格取得の講座に本校生徒として規則を守り、礼儀を重んじ取り組む。
○開講式	・オリエンテーション	・受講のてびき
介護・福祉サービスの理解	1. 介護の職務の理解 ・現場見学実習	・受講のてびき・誓約書・認印・フェイスシート・体育館シューズ持参。 ・現場見学はメモを取りながら積極的に取り組む。 ・実習報告書の提出
	1. 介護の職務の理解	・受講の手引き、テキスト1巻 認印
	2. 介護における尊厳の保持 自立支援	・受講の手引き、テキスト1巻 認印
	3. 介護の基本	・受講の手引き、テキスト1巻 認印
	4. 介護・福祉サービスの理解 と医療との連携	・受講の手引き、テキスト1巻 認印 ・添削課題No 1
コミュニケーション技術と老化・認知症・障害の理解	1. 介護におけるコミュニケーション技術	・受講の手引き、テキスト2巻 認印
	2. 老化の理解	・受講の手引き、テキスト2巻 認印
	3. 認知症の理解	・受講の手引き、テキスト2巻 認印 ・添削課題No 2
	4. 障害の理解	・受講の手引き、テキスト2巻 認印
こころとからだのしくみと生活支援技術	1. 介護の基本的な考え方	・受講の手引き、テキスト3巻 認印
	2. 介護に関するこころのしくみの基礎的理解	・受講の手引き、テキスト3巻 認印
	3. 介護の基本的な考え方	・受講の手引き、テキスト3巻 認印
	3. 生活と家事	・受講の手引き、テキスト3巻 認印
	4. 快適な居住環境整備と介護	・受講の手引き、テキスト3巻 認印
	5. 睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	・受講の手引き、テキスト3巻 認印 体操服、ジャージ、体育館シューズ エプロン ・添削課題No 3
	6. 整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	・受講の手引き、テキスト3巻 認印 体操服、ジャージ、体育館シューズ エプロン、バスタオル、 パジャマ上下（前ボタン・ひっかけり）
	7. 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	・受講の手引き、テキスト3巻 認印 体操服、ジャージ、体育館シューズ エプロン、アイマスク
	8. 食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	・受講の手引き、テキスト3巻 認印 体操服、ジャージ、体育館シューズ エプロン、フェイスタオル、 やわらかいおやつ、スプーン ・添削課題No 4
9. 入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	・受講の手引き、テキスト3巻 認印 体操服、ジャージ、体育館シューズ エプロン、フェイスタオル5枚、 バスタオル2枚、洗濯ばさみ2個、 20cmの紐、パジャマのズボン、新聞紙 ビニール袋（45%以上厚手）2枚	

単元名	科目名	指導内容と評価のポイント
こころとからだのしくみと生活支援技術	10. 排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	・受講の手引き、テキスト1・3巻、認印、体操服・ジャージ、エプロン、体育館シューズ、バスタオル、パジャマのズボン
	11. 死にゆく人に関するこころとからだのしくみと終末期介護	・受講の手引き、テキスト3巻、認印、
	12. 介護過程の基礎的理解	・受講の手引き、テキスト3巻、認印、
	13. 総合生活支援技術演習	・受講の手引き、テキスト1・3巻、認印、体操服・ジャージ、エプロン、体育館シューズ、バスタオル、パジャマの上下
科目試験	14. 科目試験（筆記）	
	15. 科目試験（口答）	
	16. 科目試験（実技）	
振り返り	17. 介護実習	・別途説明
	18. 科目の復習	・テキスト1・2・3巻、認印、
修了試験	19. 筆記試験	・受講の手引き、テキスト1・2・3巻、認印、
介護職の資質向上	20. 報告書やレポートの書き方	・テキスト1・2・3巻、認印、

内 容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
学習の手引き シラバス説明												
受講に向けての心構え												
開講式												
介護・福祉サービスの理解												
1 学期期末考査												
コミュニケーション技術と老化・認知症・障害の理解												
こころとからだのしくみと生活支援技術												
科目試験												
振り返り												
2 学期期末考査												
修了試験												
介護職の資質向上												
学年末考査												
凡例												
行事等												

凡例

授業計画

試験範囲

行事等

期末考査

中間考査

期末考査

学年末考査